

H30年度 通学路危険箇所要望書提出数 集計表

	地域名	全校数	平成30年度(H29.5末)		平成30年度(H30.8末)		平成29年度(H30.11末)		平成30年度(H31.1末)		平成30年度(H31.3末)	
			要望提出校数	要望箇所数	要望提出校数	要望箇所数	要望提出校数	要望箇所数	要望提出校数	要望箇所数	要望提出校数	要望箇所数
校数 (単位:校) 要望箇所数 (単位:箇所)	高崎	32	14	23	15	23	17	37	17	37	17	37
	倉淵	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
	箕郷	3	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6
	群馬	6	5	22	5	22	5	24	5	24	5	24
	新町	2	2	15	2	15	2	15	2	15	2	15
	榛名	7	3	7	3	7	4	9	4	10	4	11
	吉井	7	6	23	6	23	6	26	6	26	6	26
	総計	58	33	98	34	98	37	119	37	120	37	121

※各小学校から要望書が提出される毎に「要望提出校数」及び「要望箇所数」は変動します。
 ※追加で挙げられた要望書については随時、対策内容を検討しています。
 ※8月末日、中居小学校及び岩鼻小学校の要望箇所を立会い及び協議により要望取り消し。浜尻小学校を追加

H30年度 通学路等の安全対策進捗状況調べ

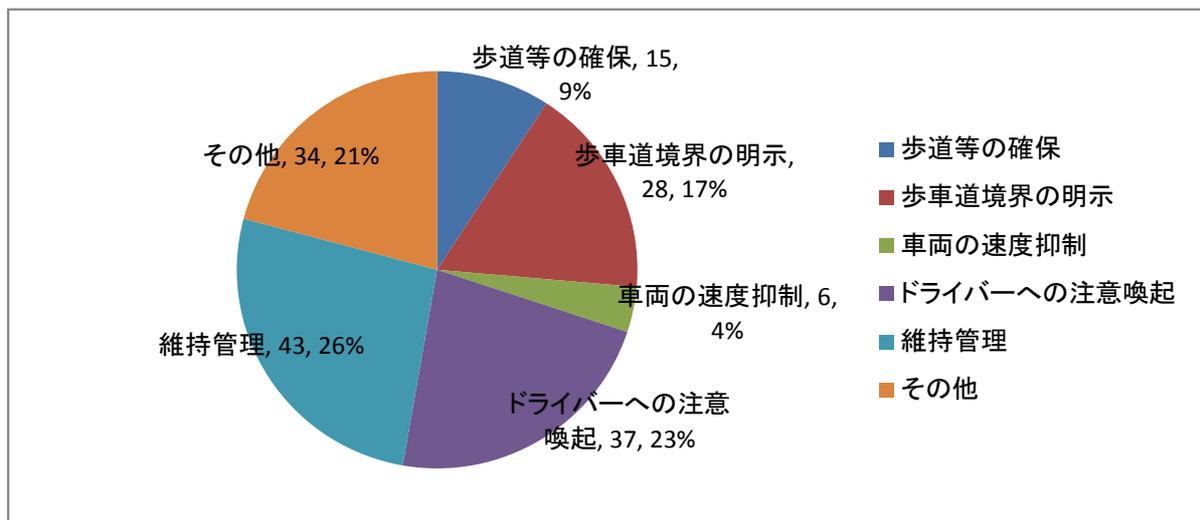
	団体名	H30.8末	進捗率 (%)	H30.11末	累計進捗率 (%)	H31.1末	累計進捗率 (%)	H31.3末	累計進捗率 (%)	設置不適 件数
対策済み箇所 (上段)	全体	24	24.4	46	38.6	52	43.3	57	47.1	9
		98		119		120		121		
	高崎警察署	1	3.1	1	2.2	1	2.1	5	10.8	5
		32		45		46		46		
	国	0	0	0	0	0	0	0	0	
		1		1		1		1		
	群馬県	1	9.0	12	50.0	12	50.0	15	62.5	1
		11		24		24		24		
	旧市内	11	61.1	20	62.5	25	78.1	26	76.4	3
		18		32		32		34		
	倉淵支所	0		0		0		0		
		0		0		0		0		
	箕郷支所	5	100	5	100	5	100	5	100	
	5		5		5		5			
対策必要箇所 (下段)	群馬支所	11	73.3	15	93.7	15	93.7	17	100	
		15		16		16		17		
	新町支所	1	50.0	2	100	2	100	2	100	
		2		2		2		2		
	榛名支所	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3		3		3		4			
吉井支所	2	66.6	7	63.6	8	72.7	9	72.7		
	3		11		11		12			
計	30	65.2	49	71.0	55	79.7	59	79.7		
	46		69		69		74			

*ただし、各団体による対策箇所の重複があるため、必ずしも計は一致していない。
 *進捗率は、対策実施無しの箇所について、対策必要箇所数を減らしています。
 「進捗率=(対策済み箇所÷対策必要箇所)×100」
 *設置不適件数については、信号機や横断歩道などの設置基準に満たない要望箇所件数を記載

対策内容別実施進捗状況 (H31.3末時点)

対策内容		対策別総数	対策済	進捗率 (%)	
歩道等の確保	15 対策	歩道の設置・拡幅(水路蓋掛け含む)	9	2	22.2
		構造物の移設・撤去(標識移設、植栽帯撤去等)による歩行空間拡幅	4	3	75.0
		路肩(路側帯)の設置・拡幅	2	1	50.0
		立体横断施設(歩道橋等)の設置	0	0	-
		無電柱化(電柱移設含む)	0	0	-
		自転車通行空間の整備	0	0	-
		踏切の拡幅	0	0	-
歩車道境界の明示	28 対策	防護柵の設置(車両用防護柵、歩行者自転車用)	4	1	25.0
		縁石ブロックの設置	0	0	-
		路側帯のカラー舗装化	6	3	50.0
		車道分離標(ラバーポール)の設置	18	13	72.2
		外側線の新設及び高度化(高輝度化、リップ付け等)	0	0	-
車両の速度抑制	6 対策	ハンプ(イメージハンプ含む)の設置	5	1	20.0
		狭さく(イメージ狭さく含む)の設置	1	1	100
		シケインの設置	0	0	-
		中央線の抹消	0	0	-
ドライバーへの注意喚起	37 対策	段差舗装(波状舗装を含む)	0	0	-
		交差点等のカラー舗装化	10	2	20.0
		警戒標識、路面標示等の設置(法定外標識含む)	26	18	69.2
		視線誘導標等の設置	1	0	-
維持管理	43 対策	植栽の剪定	0	0	-
		占用物件の適正化	0	0	-
		路面標示、外側線等の引き直し	10	7	70.0
		横断歩道、停止線等の引き直し	30	3	10.0
		草刈り、除草対策	3	0	-
		道路施設(歩道橋、防護柵、舗装等)の修繕	0	0	-
		除雪対策	0	0	-
その他	34 対策	交差点改良	3	3	100
		信号機の設置	5	0	0
		横断歩道の設置	9	1	11.1
		視距改良	1	0	-
		道路反射鏡の設置	1	0	-
		道路照明の設置・点灯	3	3	100
		バリアフリー化	0	0	-
		改築対応(バイパス整備等)	0	0	-
		その他	12	4	33.3
		対策無	0	0	-
		検討中	0	0	-
		対策内容数合計		163	66

対策内容別割合数 (H31.3末時点)

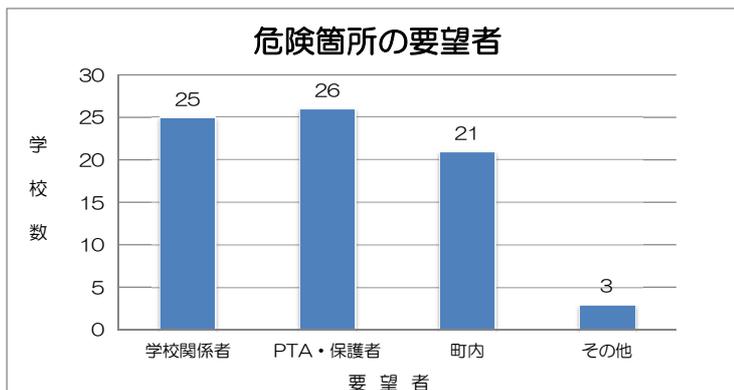


平成30年度

通学路安全対策アンケート結果

[R1.6.17 通学路安全推進会議資料]

【問1】 学校へ危険箇所の要望をしたのはどなたからですか（複数選択可）。

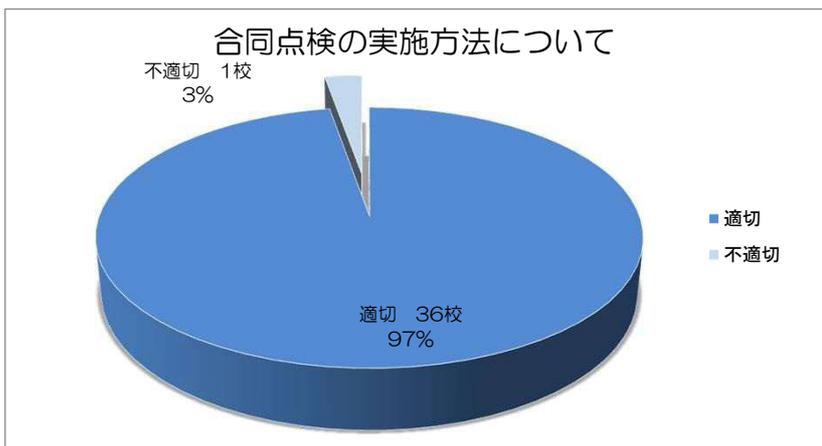


【問2】 どのような場所に危険を感じますか（具体的に記入してください）。

道路幅が狭く、歩道のスペースがない。 路面標示が消えかかっている。
横断歩道及び横断歩道があることを自動車運転手に知らせるダイヤのマークが消えかかっている、児童が安全に横断することに関して不安を感じる。
道幅が狭く歩道が無い。交通量が多く、車両速度が速い。 見通しが悪い。側溝に蓋が設置されていない。
閑越道の側道で、信号機が無く、車からの見通しも悪く、車が横断歩道上で一時停止するため、横断歩道の端にたっても危険を感じる。
横断歩道が薄くなり運転手が認識できない。 歩道橋の滑り止めが、老朽化して滑りやすくなっている。
歩道上に電柱がある。歩道が傷んでいる。
道幅が狭く、側溝に蓋がかかっている。交通量が多く、児童が横断することが危険である。
信号機が無い横断歩道。なお、横断歩道は、交通量が多く車両速度を出す道路に設置されている。
道幅が狭い、自動車の交通量が多い。児童が歩く歩道が片側しかなく、さらに狭い。 スピードを出して走行する車両が多い。
横断する場所に死角があり、車が見えづらい。直線でスピードを出す車両が多いが、横断歩道がない。 止まれや横断歩道の道路標示が消えかかっている。
道が緩やかにカーブしていて、カーブミラーがないので児童が脇道からでてくる時に見通しが悪い。 大きな交差点が手前にある小さな交差点で、大きな交差点の信号が青の時に車がスピードを緩めないで、小さな交差点を渡る場合に大変危険である。
交通渋滞の抜け道となる広い道路が、途中から急に狭くなり、スピードを出した車両が多数通過する変則路。 一灯式点滅信号機のルールが解りづらく、車両が一時停止も徐行もしない。
変形十字路であるので、歩行者用信号機が設置されていない。 道幅が狭い、歩道が整備されていない。
街灯が少なく、冬の期間は暗い中の下校をしなければならない児童がいた。
道幅が狭く、交通量が多い。必要以上に速度の速い車両が従来している。 側溝に蓋がない。転落防止柵が設置されていない。道路標識や路面標示が古くなり、消えかかっていたり見えづらい。
道幅が狭く、通行量が多く危険。店舗に接した歩道のグリーンベルトが剥がれて不明瞭。 歩道橋がさびて脆くなっている箇所があり危険。
道幅が狭く、児童が歩く際に車両との距離が近くなる場所。信号や横断歩道がないところで、渡らなければならない道。 側溝に蓋がかかっている場所。
外側線や路面標示が多くの場所で消えかかっているため、児童の通学において危険である。
道路幅が狭いが、車両通行量が多い道路。信号機のない交差点。横断歩道のない交差点。 白線が消えかかっている横断歩道。
道路沿いの民家の塀が高く、左折する運転手からは横断歩道を渡るために信号を待つ児童の姿が見えにくい、見通しが悪い交差点
校区は主要道路や抜け道として利用する車両が多く、道路幅員が狭く、安全対策が不十分なため、登下校中の児童に車両が接触し大きな事故になる可能性がある。
歩道が狭い、あるいは無い。通学時間帯に交通量が多く車両スピードが早い。道幅が狭い。
狭い道をスピードを出して車両が通り抜ける。 滞留場所が狭く、車両が曲がる時に巻き込まれる危険がある。
車両がスピードを出しやすい道路で、見通しが悪い交差点や信号機付近 道路標識、路面標示が消えかかっている箇所 幹線道路を手押し信号で2回横断して、反対側に渡るところ
児童が下校する際、交通量が多いところ。

<p>道幅が狭く、歩道（路側帯）が狭い。 一時停止をしなかったり、停止時に停止線を越えて停止する場所</p>
<p>見通しの悪い交差点。道幅が狭く歩道と車道の区別のない道路。 交通量の多い道路。信号機のない交差点。消えかかっている路面標示。</p>
<p>県道と市道の交差点で、児童が県道を渡るための歩行者用信号機があるが、市道から県道にでる車には信号機がなく、児童が市道側を渡るのに危険である。 道幅が狭く歩行スペースが無い。児童が道路を渡らなければならないのに横断歩道がない。 側溝蓋が古く、蓋を引き上げるための隙間が広く鉄の板で塞いであるが、劣化し破損しているものが多く、児童の足が入ってしまう。</p>
<p>降水時に道路に水たまりができて、通れる場所が狭くなる。</p>
<p>道路が狭い、側溝に蓋がかかっている。信号がない。歩道の整備の遅れ。</p>
<p>道幅が狭い。横断歩道周辺の滞留場所が狭い。</p>
<p>横断歩道の標示が薄れている場所。狭い道であるにも関わらずスピードを出す。</p>
<p>見通しの悪いT字路。見通しの悪いカーブ。</p>
<p>道路幅員が狭い。見通しの悪い交差点。</p>
<p>1 km程の坂道で大型車両がスピードを出し走行しているので危険である。児童が30名ほどが登下校しているが安全性が確保されず危険である。地域から毎年ガードレールの設置要望が出ている。</p>
<p>道幅が狭い。見通しが悪い。車等のスピードが出ている。人通りが少ない。薄暗い場所。</p>
<p>横断歩道が消えかかっている。カーブミラーの支柱の錆が激しい。路側帯が狭い。</p>

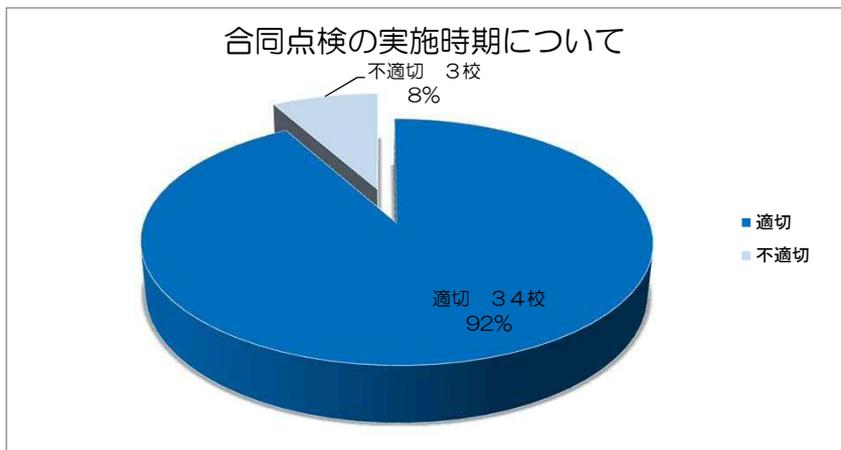
【問3-1】 危険箇所の合同点検実施の時期はいかがでしたか。



〔不適切な理由〕

- 人数を減らし簡略にできるとよい。
- 学校からの要望なので、地域振興課と学校で行うのでよいのではないか。

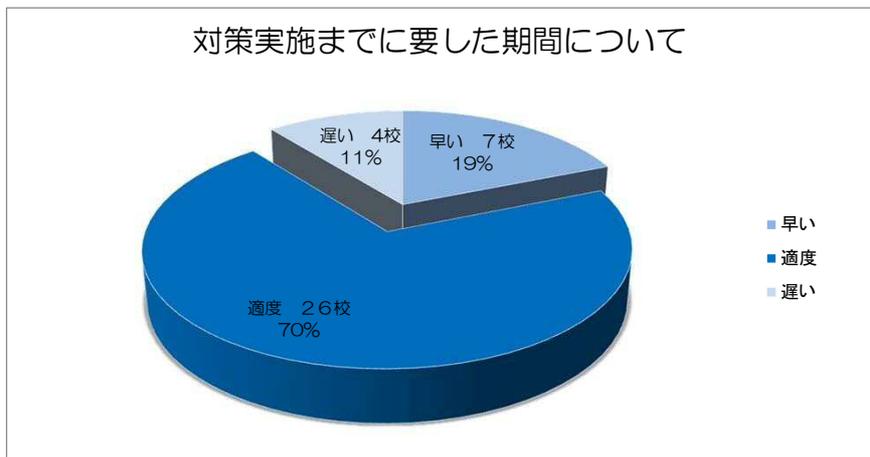
【問3-2】 危険箇所の合同点検実施の時期はいかがでしたか。



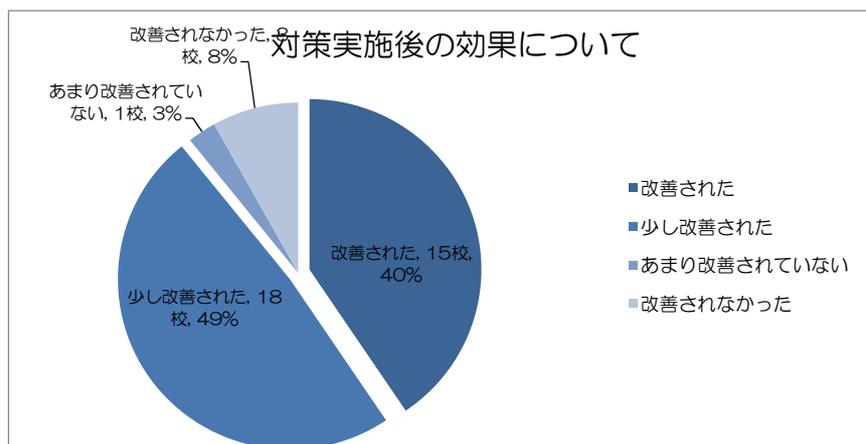
〔不適切な理由〕

- 4・5月PTA役員が新規になるため、1学期に学校役員さん等の危険箇所の確認、2学期に要望、合同点検となると役員も通学路の状況が解る
- 提出期限が早いため、地域のこともわからず年度当初の忙しい時期に要望書を提出しなければなりません。
- 担当が変わることも多く、保護や地域の方々の意見・要望を吸い上げたりするため、提出時期が年度末であると危険箇所も適確にでき効果的である。
- 時期は適切であるが、期間を設けず定期的に点検を実施して欲しい。
- 4月末から6月にかけて学校が一番忙しい。保護者、地域の方に話を聞き、現地確認作業の時間が取れない。

【問4】 合同点検実施後、対策実施までの期間はいかがでしたか。



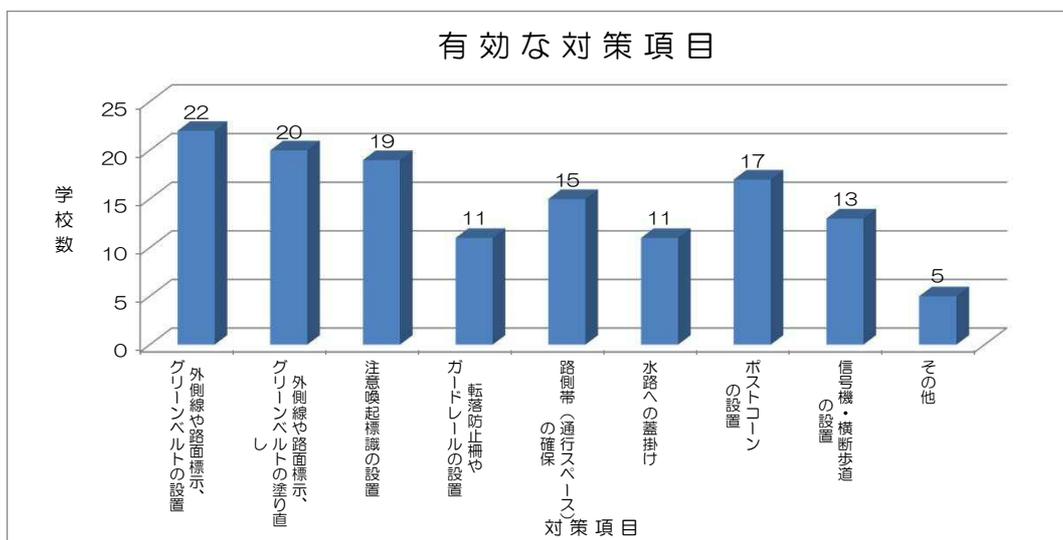
【問5】 実施された対策により通学路の危険は改善されましたか。



【問6】 設問5の回答について改善された点、改善されなかった点はどこですか。対策を施したことにより、どのように安全性が向上したかご記入ください。また、児童の通学状況の変化についてもご記入下さい。

路面標示をすることで車両への注意喚起ができるようになった。
横断歩道及びダイヤのマークが塗り直され、児童が安全安心して登校できるようになった。
以前に外側線の引き直しをしたが、歩行スペースは確保されておらず、以前と変わらない。今年度も対策を依頼したが改善はされていない。
交差点のコンパクト化により、横断歩道を歩く距離が短くなり、安全のためのポストコーンが設置されたので、待っている児童や旗振りの保護者の方が安心して立つことができ、車両からも歩行者がいることが気付きやすくなった。信号機が設置されなかったため、旗振りの保護者や交通指導員のいない下校時は、児童だけだとやや不安を感じる。
横断歩道が塗り直され、運転手に認識され児童が安全に登下校できるようになった。
電柱が認識しやすいように注記喚起標識が設置された。歩道の補修工事がされなかった。
グリーンベルトや外側線を整備したため、児童もドライバーも安全意識が高まった。交通量が多く横断が危険な箇所については、県道工事に伴い整備していく方針となり、現状のままとなり心配である。
「学童横断 注意！！ 群馬県」と書かれた道路標識を、注意喚起のために設置していただいた。また、校区内にある自動車販売店の方が不定期ではあるが、同横断歩道で登校時の旗振りのボランティア活動を実施して頂いている。
児童の登下校の通学路に、横断歩道があると安全が確保されるとよいと要望書を提出したが、設置可能かどうかを含め、連絡がない。
止まれの標識は、覆っていた樹木が伐採され、見えるようになり車が止まるようになった。しかし横断歩道の新設、塗り直しは検討すると話があったが改善されていない。
カーブの手前にポストコーンを設置していただいたので、車両に対し注意喚起がされ、スピードを落とすようになった。完全確保のため、小さな交差点を通学路として使わないように保護者と児童に周知した。
北部小学校南西道路の狭い五差路における「学童注意」「通学路」の路面標示の塗り直しにより、自動車運転者に対する注意喚起が行えた。破損していた標識は撤去されたまま、その後設置されていない。そのため、これまでと同様に登下校時には、保護者や地域住民による児童の通学の見守りや引率を続けている。
横断歩道前後にハンブが設置され、通行する車両が停止または減速し、学童に注意を払うようになった。
日没が早い時期にも安心して下校することができるようになった。
佐野中西側道路において、交差点のコンパクト化及びハンブを設置したことにより、児童生徒の安全性が高まった。なお、保護者より段差による運転への影響を聞いています。止まれの道路標識を取り替えたことにより運転手が認識できるようになり、児童が安心して登下校できるようになった。ポストコーンの設置及び路面標示の塗り直し等により児童への安全が高まったほか、児童自身も安全な歩行と自転車走行を意識するようになった。30kmの速度規制の道路標識が設置され、児童の安全と地域生活の安全がより確保された。
ポストコーンやハンブの設置により、車両速度が若干減速するようになり、安全への注意喚起が図られた。
通学路安全点検を全保護者と学校、町内会が協力し実施。その後、通学路危険箇所報告書を作成し報告会を実施し、PTA、区長会及び学校が協力し危険箇所の改善を図っている。その取組みにより通学路危険箇所の改善が図られ安全性が向上した。
横断歩道が設置され、児童が道路を安全に横断できるようになった。
グリーンベルトの設置、延長により児童が安心してグリーンベルト内を歩けるようになった。路面標示により、児童が横断していることを通る車両に意識づけられた。側溝に蓋をしたことで踏み外す危険が無くなった。歩道の延伸は叶わなかったが、ポストコーンを設置したことで安全が確保された。信号機と横断歩道の設置は、要望したが設置されなかった。
横断歩道を引き直すことで、運転手から横断歩道が見やすくなり、児童が安心して横断歩道を渡ることができるようになった。横断歩道付近にポストコーンを設置することで、交差点で左折する車が、歩道より走行することが少なくなり、児童は安心して、信号を待つことができるようになった。
ハンブの設置により通行する自動車が横断歩道や児童を意識して減速するようになった。ポストコーンが設置されたため、児童が横断歩道を渡る前の滞留場所の安全が確保された。グリーンベルトが整備され児童の歩行場所が確保されるとともに運転手が通学路であることを認識するようになった。しかしながら、全体として交通事故の危険性が解消されていない。

<p>横断歩道の注意喚起を路上に記し、標識を設置したことにより、カーブで今まで気付かれにくかった横断歩道に気づき、減速する車両が多くなった。</p>
<p>グリーンベルトの設置、ポストコーンの設置、停止線をさげる代わりに車両に対し注意を促す路面標示が設置された。速度規制の標識については、要望中であり、信号時間の変更について警察に要望したが難しいとのこと。 児童と車の接触を避けるように道路状況が改善されており、交通事故から登下校中の児童を守る安全性が向上した。</p>
<p>交差点での信号待ちのときに安全性が向上した。</p>
<p>歩道の段差が無くなり、躓きにくくなった。舗装したため小石も飛ばなくなった。 一時停止を促す路面標示を設置したことにより運転者の意識が変わった。</p>
<p>路面標識が劣化し認識しずらくなっていたが、路面標示の塗り直しにより認識しやすくなった。</p>
<p>改善要望の無いような全て実施されなかった。ただし、学校前道路の拡張工事が来年度に実施されるため、改善されるよう期待している。</p>
<p>側溝の破損及び隙間等の修繕、グリーンベルトの設置、防犯灯の設置、横断歩道標示の塗り直し及び防犯カメラの設置により児童が安心して登下校できるようになった。 また、歩道の整備及び信号機の設置について検討して欲しい。</p>
<p>横断歩道周辺の滞留場所が道路よりも低く、降雨時に水溜りができやすい状態になっていた。また、滞留場所の道幅が狭く、水溜りを避けて通ると車両と接触しやすく危険であったので水溜りができないよう路面補修工を実施した。狭い滞留場所であるが、水溜りができなくなり滞留場所が確保され、通学路の安全性が高まった。</p>
<p>道路が舗装されグリーンベルトが設置された。また、狭い道路にハンブを設置したことにより児童の安全が確保されるようになった。</p>
<p>見通しの悪い道路に外側線及び停止指導線を引いたことにより、運転手に注意喚起が出来たが、T字路への一時停止標識の設置及び見通しの悪い道路への横断歩道の設置がされなかった。</p>
<p>児童が車道にはみ出さずに歩行するようになった。安全な歩行に対する児童の意識が高まった。しかし、走行する自動車の速度は変わらず、事故の危険性は高いままである。</p>
<p>坂道の一番カーブのきつい場所にガードレールが設置されたことにより少し安全が確保されたが、早期の坂道全面にガードレールを設置し安心して登下校できるようにして欲しい</p>
<p>止まれの塗り直し、グリーンベルトの塗り直しがされたことにより、運転手から見やすくなり古通安全の意識が向上した。また歩道が整備されたことにより児童の安全が向上した。</p>
<p>横断歩道が塗り直されはっきりしたことにより、ドライバーや歩行者が横断歩道をしっかりと認識するようになった。 グリーンベルトが設置されたことにより、ドライバーが歩道部分を認識しやすくなった。 路側帯にグリーンベルトが設置されても、路側帯が狭く児童のすぐそばを車両が走行するため危険である。</p>
<p>注意喚起標識が設置された。</p>



問8 今後の通学路の安全対策について、ご意見ご要望があれば記入して下さい。

<p>登校時間の通行規制を守らない運転手が多いため、取締りの強化の必要性を感じる。また、バリケードを設置することで、注記喚起及び規制をしたいと考えているが、バリケードの出し入れ、置き場所等、地域の方の協力を得なくてはならないため、どのような方法がよいか検討をしている。</p>
<p>対策を講じた場合は、学校に連絡をして欲しい。（外側線を引き直したと保護者より聞き、現地確認をしたが、以前と変わっていなかった。）</p>
<p>道幅が狭い道や通行量の多い道、カーブで車が膨らんで外側線上を走ることの多い危険な道ほど外側線が消えかかっている。定期的に、早め早めに横断歩道や外側線の塗り直しをして欲しい。</p>
<p>児童が登下校する時間帯は、通学路の交通量が少なくなるような対策をして欲しい。</p>
<p>どうしても交通量の多い道路を通学する場面ができてしまうので、1日も早く、横断歩道の整備とガードレールなどの設置、通行スペースの確保に向け道路を整備して欲しい。</p>
<p>手押し式の歩行者用信号機が設置されると、さらに通学路の安全が確保される。</p>
<p>横断歩道の設置、路側帯の確保。</p>
<p>通学路の安全対策のアンケートを実施すると、交通安全の面と防犯の面からの両面からみた安全対策を保護者は要望してくるので、両面の対策が可能なかを考えていきたい。</p>
<p>北部小学校の南側道路の歩道が途中で途切れているので、早く西に向かって延伸工事を実施して欲しい。 北部小学校の南東に位置するもんや歯科医院付近の十字路に設置してある一灯式点滅信号機はルールが解りづらいので撤去し、「止まれ」「徐行」等の標識及び路面標示の設置をして欲しい。なお、当該交差点において、事故があったが下校時間とずれていたため大惨事は免れたが、事故が多いの早急に対応して欲しい。</p>
<p>高崎駅東側の開発に伴い、佐野小をはじめ佐野中や城東小の児童生徒の安心・安全な通学路や生活環境を整えていくため、将来を見越した安全対策を検討していく必要がある。</p>
<p>グリーンベルトの塗り直しや歩道橋の補修など、要望したが改善されていない箇所もある。</p>
<p>学校、区長、PTAが話し合い通学路危険箇所への対策が必要な場合は、改善に向け全面的に協力して欲しい。</p>
<p>周辺道路は総じて道幅が狭く、周辺市道は高崎渋川バイパスの裏道として朝夕を中心として交通量が増加している。かつては、下校中の児童に車が接触する事例がある。また、信号が渋滞するため逆車線にはみ出して右左折する車両もあり、児童が巻き込まれる事故がある起きてもおかしくない状況である。 ゾーン30の指定やハンブの設置、大型車輛の規制、横断歩道の塗り直しのほか、将来的には道路拡張し安心して登下校できる環境整備をお願いしたい。</p>
<p>ブロック塀等、地震時の危険箇所の対応をして欲しい。 マンホールやグレーチングが滑りやすくなっている箇所があり、滑りにくいものに交換して欲しい。</p>
<p>今年度、通学途中に児童が私有地に入り込まないような看板を設置したが、道路に関わる安全対策と同時に、通学路に面した危険箇所に関わる対策をする必要がある。</p>
<p>大がかりな改善が必要な場合は、予算等の関係ですぐに取り掛かるのは難しいと思いますが、簡単に済む場合には早めに改善の実施をして欲しい。</p>
<p>通学路の歩道整備を早急に実施して欲しい。</p>
<p>改善要望に対し迅速に対応して頂き感謝します。</p>
<p>限られた予算の中で対応して頂いたことに感謝しますが、通学路の安全対策については、児童の命が関わっていますので優先的に対応をして欲しい。</p>
<p>通学路の事故多発地帯、不審者出没場所等は、何らかの原因があるのでその原因究明を行い、改善していくことが重要と考える。今後とも、児童の安全確保のためご協力をお願いしたい。</p>